



議会だより

たちばな

第83号

令和5年1月臨時会 (第1回)
令和5年3月定例会 (第2回)



祝 卒業おめでとう



狭野
小学
校
卒
業
式
(3月23日)

もくじ

- 1月臨時会、3月定例会のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・・P2～P4
- 議員表彰、採決が分かれた議決結果・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7～P13
- シリーズ「高原での暮らしはどげんじゃひか?」、編集後記・・・P14

※議会傍聴をしてみませんか。

次の議会定例会は、6月14日開会予定です。
傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局
にお気軽にお尋ねください。

電話 0984-42-5138 (直通)

1月

臨時議会

令和5年1月30日に開催され、条例1件、補正予算1件が上程され、審議しました。一般会計補正予算第12号の歳入歳出の規模は2億1,695万2千円でした。

(主な内容)

- ふるさと納税特産品贈呈事業 2億1千円
- 出産・子育て応援事業 719万9千円
- 公共施設災害復旧費（台風14号による災害復旧） 975万2千円

3月

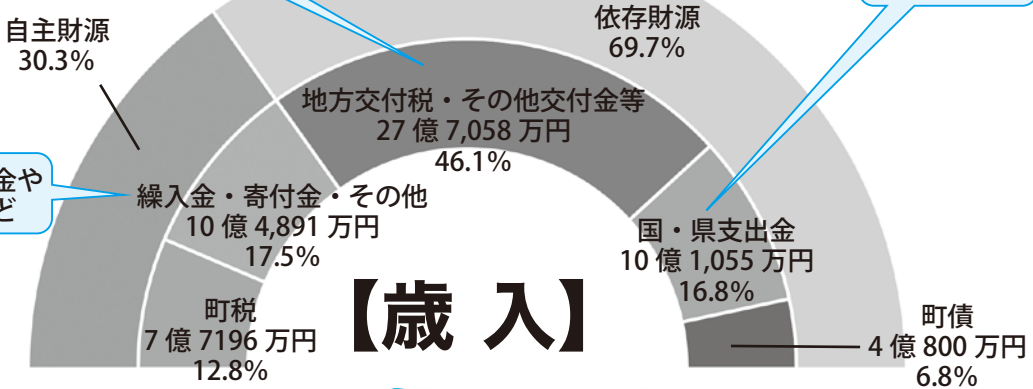
定例会

令和5年3月定例会は、3月8日から3月23日までの16日間の日程で開催され、報告1件、補正予算8件、条例関係（議員発議含）12件、その他2件、令和5年度一般会計予算及び特別会計予算5件、企業会計3件の計9件の予算が上程され、それぞれ常任委員会等で審議が行われ原案通り可決しました。その他請願1件については、「不採択」となりました。

行政の格差をなくすため、国から交付されるお金など

国・県からの補助金など

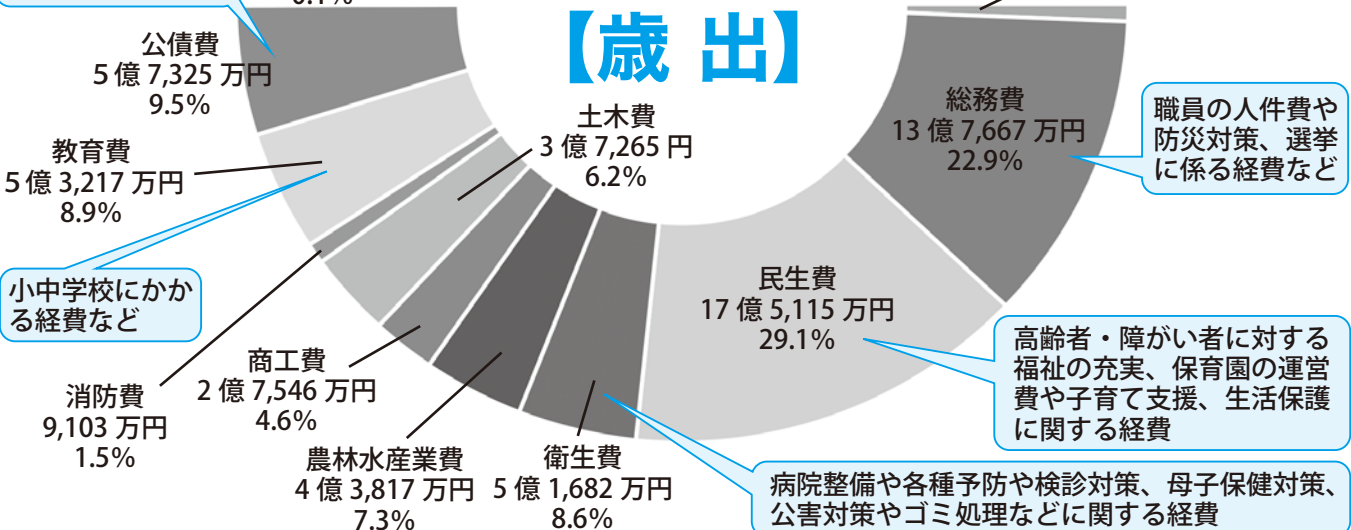
基金からの繰入金やふるさと納税など



一般会計 60億1千万円

国や金融機関から借りたお金の返済に係る経費

議会費



小中学校にかかる経費など

職員の人件費や防災対策、選挙に係る経費など

高齢者・障がい者に対する福祉の充実、保育園の運営費や子育て支援、生活保護に関する経費

病院整備や各種予防や検診対策、母子保健対策、公害対策やゴミ処理などに関する経費

令和5年度特別会計及び企業会計の予算（千円）

特別会計		企業会計	
住宅新築資金等貸付事業	50万4千円	水道事業会計	
農業集落排水事業	3,805万3千円	収益的収入	1億9,889万6千円
国民健康保険	14億5,937万3千円	収益的支出	1億9,554万1千円
介護保険事業		病院事業会計	
保険事業勘定	14億2,588万5千円	収益的収入	6億3,745万9千円
サービス事業勘定	575万2千円	収益的支出	10億3,880万3千円
後期高齢者医療	3億2,506万4千円	工業用水道事業会計	
		資本的支出	201万3千円



◀ 広原農業集落排水処理施設

※工業用水道事業会計については、工業用水の供給がないため、資本的支出のみ計上しています。

令和5年度 一般会計当初予算の重要施策の概要 ※主な事業のみ掲載

(1) 「町民の誰もが住み続けながら、豊かさと幸せを実感できる町づくり」事業の着実な推進

①健康づくりと地域医療の充実

- ◆病院整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億2,438万3千円
- ◆健康増進事業（健康教育・健康診査）・・・・・・・・・・1,929万6千円
- ◆妊産婦健康診査事業・・・・・・・・・・・・・・・・553万9千円

②新型コロナウイルス感染症対策

- ◆高原町新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給事業・・・・・・・・930万8千円
- ◆小中学校給食運営事業（食材費・燃料費）・・・・・・・・197万円

③教育環境の整備

- ◆教育支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・820万4千円
- ◆小中学校給食運営事業（給食費補助含む）・・・・・・・・7,195万円
- ◆小中学校町費職員配置事業・・・・・・・・5,155万5千円
- ◆小中学校ICT整備事業・・・・・・・・4,502万8千円
- ◆高原中学校校舎屋根補修工事事業・・・・・・・・2,409万円



▲高原中学校校舎

④災害に強いまちづくり

- ◆消火栓設置負担金（2基）・・・・・・・・150万円
- ◆木造住宅耐震改修促進事業・・・・・・・・200万円

⑤農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

- ◆中山間地域等直後支払交付金事業・・・・・・・・4,823万7千円
- ◆農地中間管理事業・・・・・・・・559万1千円
- ◆肥育農家導入支援対策事業・・・・・・・・720万円
- ◆県営畑地帯総合整備事業 祓川第2地区・・・・・・・・960万円
- ◆県営農地中間管理機構関連農地整備事業 祓川第1地区・1,000万円
- ◆県営畑地帯総合整備事業 後川内1、2期地区・・・・・・・・5,214万円



▲県営畑地帯総合整備事業 後川内2期地区

令和5年度 一般会計当初予算の重要施策の概要 ※主な事業のみ掲載

- ◆森林経営管理制度事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 141万6千円
- ◆宮崎フリーウェイ工業団地企業立地促進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 157万2千円

⑥観光の振興

- ◆地域商社を核とした資源活用×雇用創出イノベーション事業
（魅力ある観光物産商流創出事業）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 498万8千円
- ◆高原町観光協会運営支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・876万8千円
- ◆皇子原公園・御池キャンプ村改修工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・523万6千円
- ◆企業版ふるさと納税・クラウドファンディング活用事業・・・・・・・・・・500万円

⑦子育て支援・少子化対策

- ◆支援対象児等見守り強化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・974万9千円
- ◆放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・3, 265万6千円
- ◆地域子育て支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・633万7千円
- ◆母子・父子家庭医療費助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・343万7千円



(2) 重要施策（※主な事業のみ掲載）

①ふるさと納税の推進

- ◆ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4億円

②移住・定住の推進

- ◆移住定住支援金交付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・489万円
- ◆地域おこし協力隊員設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・4, 009万5千円
- ◆宮崎ひなた暮らしU・I・Jターン支援事業・・・・・・・・・・450万円

③公共施設の整備

- ◆公立保育所施設整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・608万6千円
- ◆鹿児島山団地57-2棟屋上防水改修工事【新規】・・・・・・・・・・577万8千円

④高齢者支援

- ◆敬老会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・185万4千円
- ◆高齢者の生きがいと健康づくり事業（茶飲み場等）・・・・・・・・・・372万1千円
- ◆養護措置委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・9, 735万5千円

⑤資源と魅力を生かした地域の活性化

- ◆高原町地域活性化企業人設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 283万7千円

⑥地域交通の充実

- ◆地域交通機関運行維持対策事業
 - ・乗合タクシー（新たにまちなか循環線を運行）・・・・・・・・・・474万4千円
 - ・広域的バス・・・・・・・・・・・・・・・・・・568万8千円



(3) 町債の状況

- ◆令和5年度元金償還見込額・・・・・・・・・・・・・・・・・・5億6, 028万4千円
- ◆令和5年度末残高見込額・・・・・・・・・・・・・・・・・・49億4, 926万1千円

(4) 主な新規事業

- ◆病児保育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・853万1千円
- ◆自殺対策推進計画策定委託・・・・・・・・・・・・・・・・・・553万3千円
- ◆交通安全対策（単独） 上平・高原駅線（区画線）・・・・・・・・・・773万9千円
- ◆道路舗装事業（単独） 蒲牟田・前田線ほか1路線・・・・・・・・・・500万円
- ◆・・・・・・・・・・・・・・・・・・梅ヶ久保・発電所線・・・・・・・・・・500万円
- ◆・・・・・・・・・・・・・・・・・・福原・金鳥居線ほか1路線・・・・・・・・・・531万9千円
- ◆消防ポンプ自動車購入事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2, 804万8千円
- ◆広原小屋内運動場照明LED化工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・839万3千円

永年勤続表彰



●全国町村議長会表彰
27年以上 中村 昇議員

●県町村議長会表彰
12年 温谷 文雄議員、前原 淳一議員、松元 茂春議員

表決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和5年 第2回定例会 議決結果(内容)

議案番号	件名	議決結果	①陣圭介	②反田吉巳	③松元茂春	④中村昇	⑤温水宜昭	⑥福澤卓志	⑦末永充	⑧入佐廣登	⑨前原淳一	⑩温谷文雄
議案第8号	令和4年度高原町病院事業会計補正予算(第3号)	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	令和5年度高原町一般会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議案第22号	令和5年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	令和5年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議案第24号	令和5年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議案第26号	令和5年度高原町病院事業会計予算	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第28号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	●	—
請願第1号	「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を国に提出していただくこと	不採択	●	●	●	○	●	●	●	●	●	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

議員とふれあい話そう会（議会報告会）

2月4日（土）・5日（日）にほほえみ館中研修室にて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、今回は対面形式に加え、インターネットによる参加も受け付けました。参加された方々よりいただいたたくさんのご意見については、今後の議会のなかで活かしてまいりたいと思います。町への要望等については、3月定例会最終日に町長へ提出しました。

○町への主な要望事項等

- 1 台風14号の被害を受けた水道施設に対して寄付があったと思うが、今後断水にならないような対策をして欲しい。
- 2 医師確保ができる環境づくりをして欲しい。
- 3 投票率向上に努めて欲しい。（議員を含め）
- 4 町民に身近な町立病院については、規模を縮小してでも存続して欲しい。
- 5 男の生きがい教室でほほえみ館の清掃を行っているが、高齢化で参加者が少なくなっている。ほほえみ館周辺の樹木について、特にイチョウの木の枝を切って欲しい。
- 6 子育て支援の充実を図って欲しい。
- 7 ほほえみ館ができた際に、元々あった高原中学校の門柱がほほえみ館敷地の端に移設され置いてある。卒業生が見たらさみしがるとは思わないか。



▲議員とふれあい話そう会の様子

○議会への主な要望事項等

- 1 議会報告会について、開催時期を考えてほしい。2月はイベントや地域行事も多い。
- 2 議会で調査をしているが、問題点を把握し、現状を踏まえて理論的な積み上げをして欲しい。ダメだった時は視点を変えてまた積み上げることをして欲しい。
- 3 町外の人から高原はきれいなところで将来性もあると言われる。外からの視点からの積み上げも行って欲しい。
- 4 議員とふれあい話そう会の参加人数が少ないことに驚いた。

○質疑事項・その他の意見

- 1 町立病院はいい先生や看護師はいるのに、あまりいい話を聞かない。なぜか。
- 2 人口減少に対してどのように取り組んでいくのか。
- 3 地域商社についてどう考えているのか。今後何を目指していくのか。
- 4 学校が統合された場合に、今の学校はどうするのか。
- 5 一般質問での当局答弁の歯切れが悪い。
- 6 大分のある病院が診療所になっているが、高原病院も規模に見合った形になれるのか。
- 7 水源地の復旧状況について教えて欲しい。
- 8 小中一貫校では、人間関係が固定化するなどデメリットはないのか。



▲要望事項等を町長へ提出



どうもする高原



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員

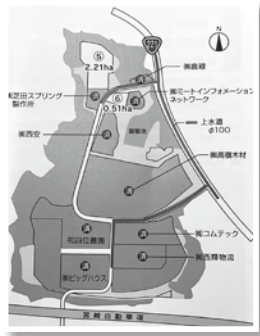
○高原町財政について

問 自主財源確保の強化に向けた取り組みは。

答 ふるさと納税額は4億2,891万6千円で、今後は返礼品の低価格商品や新商品開発に努めていく。また、企業版ふるさと納税額は、1,113万7千円で今後は対策事業の明確化や企業版関係人口づくり推進協議会を通じての紹介や関連会社への直接アプローチを

続けていく。

宮崎フリーウェイ工業団地（残3区画）や大谷工業団地（残4区画）への企業誘致を進め、雇用の拡大を図り税収の増に努める。



▲宮崎フリーウェイ工業団地

○新型コロナウイルス感染症法上の5類移行後の支援について

問 町民への周知は。

答 基本的には個人や学

校等の判断に委ねるが、国の情報を正確に伝達していく。

問 高原病院の医療体制は。

答 これまでと同様に発熱外来の設置や専用病床を確保し、コロナ感染者の入院受け入れや救急搬送にに応じていく。

○少子化・人口減対策について

問 少子化対策は。

答 子育て世帯の負担軽減策の継続や令和5年度に子育て支援係を設置し、財政面に配慮しながら支援体制整備の強化に取り組んでいく。

問 移住・定住施策の効果と今後は。

答 5年間で高原校区43

世帯123名、狭野校区13世帯35名、広原校区10世帯29名、後川内校区6世帯16名の実績であるが、今後受け入れ体制の強化が必要と思われる。

○福祉行政について

問 後期高齢者医療保険料の見直しは。

答 国においては、現役世代の負担上昇を抑制するため、今後も見直しを実施されると考えるが、保険料の変更はないものと思われる。

問 介護保険料の負担増が検討されているが。

答 現時点では、第9期介護保険料の基準額は、月額5,770円を上回ることはないものと考えている。

問 重層的支援体制整備事業への取り組みは。

答 地域共生社会の実現を目指すうえで、包括的な支援体制の構築に向けた取り組みを理解し、地域での発展に生かしていくために、本町でも社会福祉協議会と協議を始めたところであり、今後国の交付金を利用し実施につなげていきたい。



▲高原町社会福祉協議会



消費税のインボイス制度の中止を



なかむらのぼる
中村 昇議員

問 10月から消費税の適格請求書等保存方式、いわゆるインボイス制度が実施される予定になって

いる。インボイスが導入されれば、これまで消費税を納税しなくてよかった小規模事業者に新たな税負担がのしかかるなど大きな影響が生じる。コロナ禍で受けた打撃からの回復もおぼつかなくなる。事業者や地域経済に及ぼす影響についてどのように考えるか。

答 インボイス制度に関しては、制度設計上、非常に課題の多い制度なのではないかと認識している。国、県の動向を注視しながら、適切に対応する。

問 シルバー人材センターも、高齢者は個人事業主として扱われるため、高齢者自身がインボイスを発行しなければシルバー人材センターが消費税

の仕入れ税額控除ができず、多額の納税負担が生じる。高原町は運営費の補助金が他町と比べて少なすぎる。補助金の増額を。

答 検討する。

○安全安心な町営住宅に

問 町営住宅の現況はどのような実態か。

答 令和5年3月1日時点で、管理戸数202戸に対し、入居戸数154戸の入居率76・2%となっている。

問 耐震性のない二葉団地については、高原町公

営住宅長寿命化計画では令和元年、2年に建て替え計画であったが。

答 現時点での建て替え計画の予定はない。

○教育行政

問 文部科学省は昨年8月、「拉致問題に関する図書等の充実を図るとともに拉致問題に関するテーマ展示を行うなど児童生徒が手に取りやすい環境の整備」を願うという

「事務連絡」を地方自治体などに出した。これについて日本図書館協会は「拉致問題は早急に解決されるべき問題」と捉え、選書は「外部から一律に要請されることではなく、各館が地域の事情や利用者のニーズなど踏まえて、主体的に考えて取り組むべき」としています。これについて

どのように考えるか。
答 教育委員会としては、地域の事情や利用者のニーズを踏まえ、図書の充実に努める。

問 学校の統廃合について、地域がさびれるなどの声がよせられている。丁寧な説明が必要では。

答 コロナ感染症拡大で実施できなかった。開催時期や方法を再度検討する。



▲高原町営二葉団地



▲高原町中央公民館図書室



備えあれば憂いなし、 備えることで防犯となる



ふくざわ たくじ
福澤 卓志議員

○防犯等対策

問 幼保施設に防犯カメラ設置が必要では。

答 町内全ての施設で設置済み。

問 公立保育所の状況は。

答 令和3年度1施設に対し16か所カメラを設置している。

問 小中学校及び建設予定校舎は。

答 新校舎には設置を、

現校舎は未定。

問 役場庁舎内外には、必要ない。



▲小学校の体育館

問 通話記録機能の導入が必要では。

答 考えはない。

問 マイナンバーカードを活用した出退勤管理ができないか。

答 導入しない。

問 通学等の道路が暗い、防犯灯が必要では。

答 要望があれば適宜対処する。



▲防犯灯のないカーブ

○防災について

問 学校等体育館を避難所として開放できないか。

答 大規模災害以外の開放の考えはない。

問 防災ラジオの導入ができないか。

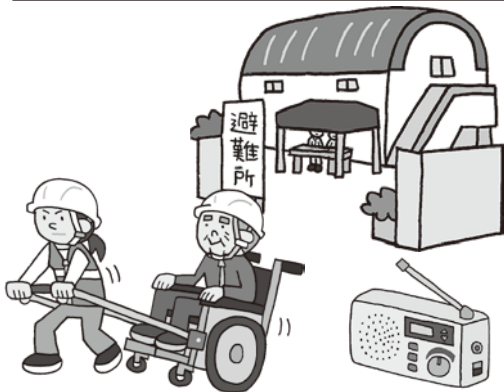
答 数年以内に更新時期を迎えるが、不具合等が無いことから継続使用する。

問 精度が良く安価な受信機導入及び配布の検討が必要では。

答 検証・検討していく。

問 避難時に役立つ、けん引式車椅子補助装置の導入が必要では。

答 導入しない。



○選挙について

問 ポスター掲示場が多い。

答 法定設置数、町内17か所必要。本町では、

国会・県議106か所、町議81か所としている。

問 減らすことができないか。

答 候補者への選挙活動や町民への選挙啓発に影響があると考えられ、慎重に検討する必要がある。

問 本年行われる県議・町議選からできないか。

答 県選管の許可を得ており、これまで長期間準備してきた。





畑地かんがい整備事業について



いりさ ひろと
入佐 廣登議員

問 広原畑地かんがい整備事業現況は。

答 受益面積169ha、受益者数359人である。

問 今後の対応は。

答 令和5年度から、推進委員会を実施していく。

問 鹿兒山、後川内の現況は。

答 鹿兒山、受益者292人、耕作者232人、後継者30人、後川内、受益者156人、耕作者135人、後継者は37人である。

問 10a当たりの受益者負担は。

答 国55%、県29・2%、

町7・5%の農地集積促進事業8・3%で、負担割合、鹿兒山地区5万3,000円が4,400円、後川内地区7万3,000円が6,000円の負担となっている。

○道路整備について

問 畑かん事業基盤整備区域の未舗装道路の事前整備は事業が重複するのできないと聞くが。

答 県営事業により農道整備は可能である。

○町道上平、高原駅線について

問 高速道路橋辺りの見通しが悪く危険である、改良はできないか。

答 現在、劣化している減速線や区画線の引き直しを実施し、警察署等と協議を行い対策を図っていく。

問 中央線にラバーポールを設置しては。

答 警察と協議して決めていきたい。

問 現在制限速度40キロである、50キロにしては。

答 公安委員会は50キロが適当と言うことであり、地元との調整を行い制限速度の変更願いに行く。



▲鳩取山橋から小林に向かう道路

○広原水源地について

問 台風14号の影響で常盤台水源地被害をうけた、広原水源地は大丈夫か。

答 水源地の回りはコンクリートで覆われていて、法面の崩土対策もされており、地滑りや導水管影響は低いと考える。

問 災害時の対策としてボーリングを行い補給できるようにしては。

答 常盤台水源地については令和5年度に予算計上している、町内6カ所の水源地については早急には厳しい、今後検討し

て行かなければならないと思う。

○高原町広原定住促進住宅

問 現在まで建設整備に要した費用は。

答 用地取得費、測量及び設計委託料、造成工事費、4棟設計費、建設費、水道負担金、手数料等の、総額1億4,698万6,221円である。

問 入居条件として子供が18歳になるまでとなっているが。

答 入居者応募抽選会時に説明している。

問 今後の建設予定は。

答 入居者応募数が少なく、また投資的予算を考慮して建設を見合わせた。



スポーツ振興と公共工事について



すえなが 未永 みつる 充議員

○スポーツ振興

問 2027年の国民スポーツ大会に向けての本町の体制は。

答 事務を中心に体制の整備を考えている。

問 総合運動公園を会場として、アーチェリー競技が実施されるが「おもてなしの心あふれる大会を目指す」考えは。

答 町民参加型を企画する。

問 体育施設は、老朽化

が進んで抜本的な整備計画が必要であるが。

答 適宜修繕にて対応したい。

問 旧高原高校体育館の活用は、どのようなになっているか。

答 電気設備が万全でないことから活用できるよう進めたい。

○競技力向上に向けて

問 部活動指導者について、小学校から中学校へ継続的にレベルアップすることが必要であるが。

答 指導力の配慮や地域や学校、各種競技団体等の連携協力体制を推進していく。

○総合運動公園の整備

問 クラブハウスなどの設置が必要であるが。

答 今後、改めてスポーツ団体と協議していく。

○スポーツ文化

問 高原町民体育館分館は、貴重な登録有形文化

財である。国の助成金を用いた保存修理などに取組む必要があるが。

答 保存計画策定等に取り組む。

○公共工事

問 公共工事の発注見通しは。

答 全て年度内完了見込みとなる。



▲高原町総合運動公園

問 気候変動の影響により災害が多発化・激甚化するなかで、今の職員体制で大丈夫か。

答 現在の職員を工夫しながら配置し対応していく。

問 街路事業二葉村移線の進捗状況は。

答 事業に伴う用地買収や補償等を説明し地権者への同意を得たところである。現在、契約段階である。令和5年度より工事に着手したい。

問 建設業の担い手確保及び、働き方改革を進めるうえでの対応は。

答 週休二日制を後押しするために、公共工事の諸経費を、現場管理費等に増額補正することで検討していく。



自走できる地域商社に！



まえはら じゅんいち
前原 淳一議員

○地域商社について

問 何をやっているか見えなないなどの意見を聞く、町民に明確な説明を。

答 広報誌など区長会を通じて丁寧説明していく。

問 現在の運営状況は。

答 社長以下、一般採用職員、地域おこし協力隊など14名体制で運営している。

問 ふるさと納税からの出資はいつまで続けるの

か。

答 寄付額の12%を出資しているが、現時点での見通しを立てることは難しい。

問 特産品の開発や加工品のブランド化が必要では。

答 牛肉の加工開発やわ

さびについても協議をしている。

問 自走できる組織体制づくりには堅実な目標設定が必要では。

答 今はないが、財源確保等アピールしながら進めていく。

○人口減対策について

問 歯止めをかけるための方策は。

答 妊娠・子育て支援・

健康づくり支援などを行っている、また若者の働く場の確保も重視している。その他、ワーケーション事業や農家民泊など関係人口の創出、移住定住の支援にも重点を置いている。

問 「こんなことをしてもらえればうれしい」と思えることの調査は。

答 アンケート調査をしていく。

問 子育て支援の他、切れ目のない支援に取り組んでいる町もある。

答 参考にしていく。

問 若者の意見を聞く場の創設は。

答 町づくりに活かすこ

とは重要で、悩み相談等にも応じながら町政に活かしていく。

問 子育て支援などだけではなく、憩いの場や住宅の整備などが必要では。

答 空き家を利用した住宅施策等に取り組んでいる。

問 大切なことは常にアイデアを募集し続けることだ。

答 若者の意見を聞きながら、地域商社とも連携して取り組んでいく。

高原町 ふるさと納税返礼品





条例等の整理を確実に



じん 陣 けいすけ 圭介 議員

○ひとり親家庭医療費

問 町の条例は、扶養者が実母・実父であるか否かにより扶養者の助成対象期間を区別しているが、県の要綱では区別がない。対応は。

答 平成20年6月から現在の規定。県の要綱に合わせ条例を改正する。

問 実務上、県の要綱に基づいて行っていたのは適法か。

答 本来条例に従って執

行すべき。職員に徹底し改めていく。

問 都城市、三股町が入院外の現物給付を行っているが、本町では。

答 小中学生は子ども医療費との差額分を単独事業で負担し、医師会や医療機関との協力も必要。現時点で導入は難しい。県に要望する。

○紙おむつの処分

問 厚労省から「保育所等において使用済みおむつの処分を行うことを推奨する」内容が通知された。町の対応は。

答 各保育所等と意見交換を行い、対応を調査研

究する。

○オストメイト対応トイレ

問 段階的な設置について進捗は。

答 コロナ感染対策を優先し、トイレの洋式化・蛇口の非接触化を進めてきたこともあり、設置が進んでいない。今後は観光施設内での設置を検討したい。



▲オストメイト対応トイレ

○証明書等のコンビニ交付

問 サービス導入による課題は。

答 当初5年間で1通あたり約2,600円の経費がかかると判断している。



▲証明書交付機

○改正民法

問 私債権、契約関係における改正内容の反映は。

答 延滞金や責任負担等の内容につき契約書が不十分な点もある。内容を検証し是正する。

問 隣地使用権の見直し

により、町道等にかかる竹木の枝につき行政の判断で切除しやすくなるが。

答 費用負担等に問題が生じるケースが考え得る。早い段階でルール作りが必要。



▲公道にかかる竹木の枝

問 ライフライン設備の設置・利用に関し他の土地や他人所有の設備を利用する権利が明確化される。整理は。

答 改正後の内容を十分理解し、トラブルを招かぬよう、従来通り承諾書を取りながら、様々な視点から検討・整理する。

ようこそ高原町へ シリーズ⑧

高原での暮らしは、どげんじゃひか？

かわもと たかゆき
◆◆◆ 川元 貴敬さん ◆◆◆

①移住のきっかけを教えてください。
前職で3年ほど高原町の担当をしており、その中で町内の様々な人と関わってきました。そうした中で、ご自身たちの住む町の将来を真剣に考え、より良くしていきたいという静かな情熱に触れ、そうした思いに賛同し、自分も何か意義のある仕事がしたいと考えようになり、昨年から夫婦で高原町民となりました。



②実際に高原町に住んでみていかがですか。
現在住んでいる家に畑用のスペースがあったので、鍬や鎌を買って野菜作りを始めてみました。そうした事が縁で、近所の方に野菜や花の苗をいただいたり、育て方を教えていただいたりするようになりました。工夫し、楽しみながら生活する経験を高原に来て味わうことができた気がします。

③移住してよかったことは
ほのぼのとした景観がそうさせるのか、食生活や生活リズムが改善されたからなのか、頭痛など体調不良が生じることがほとんど無くなりました。ストレスも軽減して、たばこも（今のところ）やめることができました。山が元気なおかげで唯一花粉症だけがひどくなった様な気がします。

高原町への本音を教えてください



④高原町に来て驚いたことは
夜は本当の暗闇になる事を知りました。野生のフクロウの声が聞こえることも興奮しました。

⑤高原町のお気に入りの場所は
矢岳の登山道8合目くらいから山頂に向かう道中の景色です。高千穂峰を背景に、春夏の花、秋の紅葉を眺めると、高原の自然すばらしさをしみじみと感じます。

⑥これからの移住者へのアドバイスは
可能であれば、1軒屋を借りて住んでみる事をお勧めします。人づきあいや土いじりなどを通して、高原の良いところや課題がより身近に感じられると思います。

編集後記

WBCの日本代表 侍ジャパンが世界一に輝き、日本中に大きな感動と勇気を与えていただきました。

さて、「光陰矢の如し」時が進む早さを改めて実感しているところです。3年前コロナが確認されて以降、我々の生活様式に大きく変化があったことは紛れもない事実であります。1日も早いコロナ終息を切に願っております。

現在のメンバーでの議会だより編集は今号で最後となります。議会を身近に感じ、親しみやすく関心を持ってもらえたかどうか。次号からは新メンバーでの編集になります。

今後とも引き続きよろしくお願いたします。

(松元 茂春)